

令和 6 年度事業実績及び収支決算について (令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで)

1 事業活動概況

県民の総合的な健康づくりを積極的に推進するため、健（検）診・検査、健康づくり支援事業、普及啓発等の各種事業のより一層の質の向上と充実に取り組んだ。

また、健（検）診・検査事業における精度管理の徹底、県や市町村と連携した健（検）診受診率向上への取り組み、豊富な健診情報を基にした調査分析活動への積極的な取り組み等を推進した。

2 各事業概要

(1) 健（検）診・検査事業

① 地域保健

広く県民の受診機会の拡大が図られるよう、県、市町村及び各地区の医療機関と連携を図りながら、各種健（検）診・検査を実施した。

主な健（検）診・検査

(単位：件)

項 目	6 年度 実施数 (A)	5 年度 実施数 (B)	増減 A-B
特定健康診査	20,148	20,062	86
特定保健指導	265	308	△ 43
結核健康診断 (うち肺がん検診と同時受診分)	51,039 (29,344)	52,558 (26,059)	△ 1,519 (3,285)
がん検診	84,603	86,292	△ 1,689
胃がん検診	9,710	10,541	△ 831
肺がん検診 (うち結核健康診断と同時実施分)	32,951 (29,344)	30,132 (26,059)	2,819 (3,285)
低線量肺がん C T 検診	11,528	11,641	△ 113
大腸がん検診	13,020	13,299	△ 279
子宮頸がん検診	6,956	8,196	△ 1,240
乳がん検診	4,188	6,065	△ 1,877
前立腺がん検診	6,250	6,418	△ 168
胃がんリスク検査	1,053	1,203	△ 150
腹部超音波検診	879	884	△ 5
骨粗鬆症検診	1,308	1,311	△ 3

※特定健康診査（特定健診・後期高齢者健診等）

※（ ）内の件数については、重複となります。

② 職域保健

職場での健康診断と併せて、その事後措置としての保健指導や運動指導等を実施することにより、労働者の健康増進に取り組んだ。

主な健（検）診・検査

（単位：件）

項 目	6 年度 実施数 (A)	5 年度 実施数 (B)	増減 A-B
特定健康診断（被扶養者）	483	524	△ 41
特定保健指導	1,006	766	240
結核健康診断	4,181	5,076	△ 895
一般健康診断	52,336	53,105	△ 769
生活習慣病予防健診（協会けんぽ）	11,647	11,187	460
特殊健康診断	5,272	4,849	423
じん肺健康診断	541	418	123
石綿健康診断	77	59	18
有機溶剤健康診断	1,546	1,457	89
鉛健康診断	37	35	2
電離放射線健康診断	1,124	1,136	△ 12
特定化学物質健康診断	1,947	1,744	203
指導勧奨による特殊健康診断	1,837	1,697	140
情報機器作業健康診断	469	491	△ 22
騒音作業健康診断	194	10	184
振動業務健康診断	1,117	1,126	△ 9
沃素健康診断	57	70	△ 13
がん検診	35,023	35,857	△ 834
胃がん検診	10,888	11,397	△ 509
肺がん検診	370	480	△ 110
低線量肺がんＣＴ検診	1,556	1,784	△ 228
大腸がん検診	14,720	14,334	386
子宮頸がん検診	3,161	3,449	△ 288
乳がん検診	2,057	2,061	△ 4
前立腺がん検診	2,271	2,352	△ 81
腹部超音波検診	1,890	1,755	135
骨粗鬆症検診	559	1,008	△ 449

・一般健康診断（雇入時・定期・特定業務従事者）

③ 学校保健

学校保健安全法に基づく尿検査、心臓検診に加え、結核健康診断、小児生活習慣病予防健診などの各種健（検）診・検査事業を実施し、児童、生徒の健全な育成、疾病の早期発見や予防に努めた。

（単位：件）

項 目	6 年度 実施数 (A)	5 年度 実施数 (B)	増減 A-B
結核健康診断	10,241	10,372	△ 131
寄生虫卵検査	2,466	2,961	△ 495
尿検査（腎臓病、糖尿病検査）	96,728	97,736	△ 1,008
心臓検診	8,935	7,642	1,293
学校貧血検査	17,678	18,104	△ 426
小児生活習慣病予防健診	2,537	2,573	△ 36

④ 母子保健

新生児の先天性代謝異常や内分泌異常の早期発見・早期治療を目的に、新生児マススクリーニング検査を実施した。

（単位：件）

項 目	6 年度 実施数 (A)	5 年度 実施数 (B)	増減 A-B
先天性代謝異常等検査	7,117	7,653	△ 536
拡大新生児マススクリーニング検査	5,660	6,033	△ 373

⑤ 人間ドック

生活習慣病の予防及び疾病の早期発見を目的に、協会の施設や機能を生かした検査内容やコースの設定等、受診者にとって利便性の高い人間ドックを実施した。

（単位：件）

項 目	6 年度 実施数 (A)	5 年度 実施数 (B)	増減 A-B
人間ドック	1,125	1,112	13

⑥ ワクチン接種

インフルエンザワクチン接種を取り入れ既存顧客へ実施した。

（単位：件）

項 目	6 年度 実施数 (A)	5 年度 実施数 (B)	増減 A-B
ワクチン接種	371	—	371

⑦ その他

給食従事者の検便や就職・進学時に必要な診断書作成の為の健康診断を実施した。

(単位：件)

項 目	6 年度 実施数 (A)	5 年度 実施数 (B)	増減 A-B
腸内細菌検査	21,807	22,108	△ 301
クリニック	584	476	108

(2) 精度管理の強化

① 各種委員会の設置、運営

協会が実施する健康診断、各種検査、保健指導等の各種業務について、その精度を維持・向上を目的とし、健（検）診精度管理委員会及び各種専門委員会を定期的に開催している。

<各種専門委員会（9部門）>

生活習慣病、結核・肺がん、肺がんCT、乳がん、新生児マススクリーニング、消化器がん、子宮がん、超音波検査、小児保健

② がん検診の精度管理

がん検診の精度管理を図るために、検査結果の調査を行い、がん検診の精度必要な指標の取りまとめを行った。

(令和6年度 各がん検診のプロセス指標値)

項 目	胃がん 50-74 歳	肺がん 40-74 歳	肺 CT (全年齢)	大腸がん 40-74 歳	乳がん (MMG) 40-74 歳	乳がん (MMG+エコー) 40-74 歳	子宮頸がん ※
検診受診者数(人) A	11,633	19,316	13,102	21,694	198	5,002	①9,070 ②1,963 ③7,107
要精検者数(人) B	363	341	253	1,364	14	205	①207 ②104 ③103
要精検率(%) B/A	3.12	1.77	1.93	6.29	7.07	4.10	①2.28 ②5.30 ③1.45

※子宮頸がん：①20-74 歳、②20-39 歳、③40-74 歳

(令和5年度 各がん検診のプロセス指標値)

項 目	胃がん 50-74 歳	肺がん 40-74 歳	肺 CT (全年齢)	大腸がん 40-74 歳	乳がん (MMG) 40-74 歳	乳がん (MMG+エコー) 40-74 歳	子宮頸がん ※
検診受診者数(人) A	12,333	18,197	13,439	21,960	200	6,590	①10,355 ②1,985 ③8,370
要精検者数(人) B	383	315	275	1,305	5	236	①192 ②81 ③111
要精検率(%) B/A	3.13	1.73	2.05	5.94	2.50	3.58	①1.85 ②4.08 ③1.33
精検受診者数(人) C	298	290	256	808	5	216	①159 ②63 ③96
精検受診率(%) C/B	77.81	92.06	93.09	61.92	100.00	91.53	①82.81 ②77.78 ③86.49
発見がん数(人) D	10	16	24	26	2	32	①18 ②7 ③11
がん発見率(%) D/A	0.08	0.09	0.18	0.12	1.00	0.49	①0.17 ②0.35 ③0.13
陽性反応的中度(%) D/B	2.61	5.08	8.73	1.99	40.00	13.56	①9.38 ②8.64 ③9.91

※子宮頸がん：①20-74 歳、②20-39 歳、③40-74 歳

＜参考＞各がん検診におけるプロセス指標 基準値

(単位：％)

項 目	胃がん 50-74 歳	肺がん 40-74 歳	大腸がん 40-74 歳	乳がん 40-74 歳	子宮頸がん ※ 2
要精検率	7.7 以下	2.4 以下	6.8 以下	6.5 以下	①2.5 以下 ②4.2 以下 ③1.9 以下
精検受診率	90.0 以上	90.0 以上	90.0 以上	90.0 以上	90.0 以上
がん発見率	0.19 以上	0.10 以上	0.21 以上	0.40 以上	①0.15 以上 ②0.18 以上 ③0.14 以上
陽性反応的中度	2.5 以上	4.1 以上	3.0 以上	6.1 以上	①5.9 以上 ②4.4 以上 ③7.3 以上

※厚生労働省：「がん検診事業のあり方について」より

※ 2 子宮頸がん：①20-74 歳、②20-39 歳、③40-74 歳

＜参考＞ 日本対がん協会まとめ全国平均（令和 5 年度）

(単位：％)

項 目	胃がん	肺がん	肺 C T	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
要精検率	4.81	1.89	2.98	5.44	3.99	1.37
精検受診率	78.24	77.83	83.01	66.74	89.56	81.90
がん発見率	0.08	0.05	0.12	0.16	0.30	0.01
陽性反応的中度	1.74	2.41	3.87	2.93	7.51	0.79

③ 職員の資質向上

人間ドック学会、日本消化器がん検診学会、日本医師会、県医師会、日本対がん協会、結核予防会、全衛連等の上部組織が行う精度管理事業に積極的に参加した。

今後も各種技術研修会等へ積極的に職員を派遣し、関係職員の更なる技術向上に努めるとともに、未取得者については、事業を実施していく上で特に必要の高い「胃がん検診専門技師」「肺がん CT 検診認定技師」「細胞検査士」「超音波検査士」「日本乳がん検診精度管理中央機構」の認定資格（マンモグラフィ、超音波）などの認定資格等の取得を目指していく。

(3) 健康づくり支援

健康寿命の延伸や健康格差の縮小には、本県健康事情を把握し、生活習慣病の発症予防の徹底を図ることが重要であるため、循環器疾患、がん、糖尿病の予防を中心として、健康づくりの支援を展開した。

① 健診データ解析情報のフィードバック

協会が実施した健診データを解析し、これらの情報を保健所、市町村、職場、学校等にフィードバックすることにより、それぞれの団体の健康課題を明確にするとともに、各団体における健康づくりを支援した。

② 保健指導の充実及び研修会、教室等の開催

生活習慣病発症予防を目的とした特定保健指導をはじめとする健診後の指導を展開し、個々の生活習慣の改善に繋げていった。

内 容		6 年度実施数 (人)	5 年度実施数 (人)
特定 保健指導	動機付け支援	693 人	549 人
	動機付け支援相当	40 人	37 人
	積極的支援	538 人	488 人
一般保健指導		186 人	133 人
講師派遣による健康講話		4,727 人 (86 回)	3,758 人 (86 回)

※健康講話の内容

実施者：医師・保健師・管理栄養士・健康運動指導士

内 容：糖尿病予防について

小児生活習慣病予防について

生活習慣病予防について

仕事のパフォーマンスも上がる、肩こり、腰痛予防・改善対策

あなたも絶対走れる！脂肪を燃やすスロージョギング

手抜きで減塩♪日本一簡単な料理教室

好ましい生活リズムと睡眠について など

③ 電話勧奨事業

市町村が実施するがん検診の受診率の向上を図るために、効果があるとされている電話による個別の受診勧奨を行った。また、がん検診精密検査未受診者に対する精検受診勧奨を個別郵送により行った。

(4) 普及啓発等

県民が主体的に健（検）診を受診し、生活習慣を改善するなどの行動を積極的に実践できるよう、県民に対し、健（検）診の啓発活動に取り組んだ。

① 健康情報の発信

1) 協会ホームページによる情報発信

令和6年度ユーザー数：62,970件（令和5年度86,624件）

2) 広報誌「サンテ宮崎」による情報発信

年3回、各4,000部発行。約700か所に送付した。

3) テレビ・ラジオによる情報発信

テレビCMの放映、ラジオ番組内CM等により、受診勧奨を行った。

4) 新聞による情報発信

「子宮の日」「世界禁煙デー」などの新聞広告

② 講演会や研修会、健康イベント等の開催

1) 県民向けの健康講演会や健康チェック等のイベント

◆Karada Good Miyazaki フェスタ 2024

【開催日時】令和6年11月3日（日）10:00～16:00

【会場】JA・AZMホール 【来場者数】約3,000名

健康寿命の延伸につながる取組を周知するなどの目的で県関係機関と合同でフェスタを開催し、無料測定コーナー（血管年齢、内臓脂肪測定）、啓発パネル展示などを行った。また、フェスタのついでに健診を受けていただけるよう、会場に隣接する県総合保健センターで、からだグッド健診（特定、各種がん検診等）を実施した。受診者数91名。

2) 市町村、職域、学校の健康管理担当者向けの研修会の開催

◆第23回 健康づくりセミナー

【開催日時】令和7年2月21日（金）13:00～15:30

【会場】宮崎市民プラザ オルブライトホール

【参加者数】約250名

・事業報告 宮崎県健康づくり協会 常務理事 湯田 敏行

・講演 「日常を楽しくするヨガ」

ヨガスタジオ Silkaid 代表 福留 有哉 氏

・特別講演 「ガンが教えてくれたこと～自分に向き合って見つけた夢～」

シンガー 木山 裕策 氏

協会の事業内容や方針を理解いただくとともに、健康に関する情報提供を行った。

③ 他団体との連携による啓発

- ・小林市立小林小学校の学校保健委員会「こば小 けんこうフェア」に参加し、出展ブースにて乳がん触診モデルの展示、がん予防資料の配付を行った。
- ・スポーツイベントに協賛し、参加者へ配布する啓発グッズやパンフレットを提供した。

④ 上部団体((公財)結核予防会、(公財)日本対がん協会)と連携した広報啓発

1) (公財)結核予防会

◆第54回九州地区結核予防婦人会幹部講習会

【開催日時】令和6年11月14日(木)14:00~20:00

~15日(金) 9:00~11:30

【会場】ニューウェルシティ宮崎【参加者数】約250名

結核の撲滅を図るために、九州地区の婦人団体を対象として、結核予防に関する知識の向上と地域活動の推進を図り、併せて九州地区関係団体の緊密な連携を目的として開催した。

◆結核・呼吸器感染症予防週間(9月24日~30日)

結核に関する正しい知識の普及啓発を図るため(公財)結核予防会作成の周知ポスターやパンフレット「結核の常識」等を県内の市町村、保健所、学校などに送付、また、パンフレットは街頭キャンペーンで通行人への配布も行った。

- ・世界禁煙デー(5月31日)に伴う禁煙ポスターを県内の市町村、保健所、医療機関など約150か所に送付した。
- ・結核予防の普及啓発、活動報告等のため令和6年8月19日に知事表敬訪問を行った。
- ・「全国一斉複十字シール運動」(8月1日~12月31日)では、結核予防の大切さを啓発しながら募金活動を行った。
- ・宮崎市商店街、延岡市商業施設にて街頭キャンペーンを実施し募金活動を行った。令和6年度募金額 1,721,417 円(令和5年度募金額 1,558,140 円)

2) (公財)日本対がん協会

◆がん征圧月間(9月)

日本対がん協会は毎年9月を「がん征圧月間」と定め、がんに関する正しい知識やがん検診の重要性などを集中的に訴える活動期間としており、当協会も同月に啓発活動を行った。

- ・宮崎市商店街、延岡市商業施設にて街頭キャンペーンを実施し、がん啓発リーフレット、啓発グッズ等を各300セット配布した。
- ・県内市町村・保健所・事業所等に啓発ポスターを約400か所に送付し啓発を行った。
- ・新聞各社にがん啓発の広告を掲載した。また新聞1社に日本対がん協会宮崎県支部長である理事長のコメントを掲載した。
- ・宮崎県庁8号館に「9月はがん征圧月間です」の懸垂幕を掲示した。
- ・ラジオ番組に出演し、がん検診啓発を行った。

⑤ がん検診無料キャンペーン(デジタルクーポン)

- ・日本対がん協会企画の「がん検診無料キャンペーン」の検診施設として協力した。ホームページやイベントでデジタルクーポンを周知し、胃がん、大

腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がんの５がんで３０名の利用があった。

⑥ がん克服者団体支援事業

◆子宮頸がん予防のための街頭キャンペーン

【開催日時】 令和６年４月６日（土）１４：００～１６：００

【場 所】 ＪＲ宮崎駅前アミュひろば

子宮頸がん予防・啓発街頭キャンペーン（「ひめやしの会（患者会）」主催）の支援を行い、啓発物５００セットを配布した。

（５）県委託事業等

① 宮崎県健康づくり推進センター管理運営等業務

宮崎県健康づくり推進センターは、宮崎県における健康づくり関連施策を円滑に推進するための専門的かつ技術的中核施設として、保健所、市町村、保険者、企業、民間の健康増進施設等と連携し、県民の健康づくりの基盤整備に資することを目的として県が委託する事業であり、当協会がその委託を受け、必要な事業を行っている。

１）健康づくりに携わる人材育成

◆ 健康増進計画評価支援事業

「健康日本２１（第三次）」及び「健康みやざき行動計画２１（第３次）」の積極的推進を図るため、市町村健康増進計画の推進・評価等に関する研修会を行い、市町村における健康づくり施策の推進を図る。

○実績

事業内容	開催日 開催場所	開催方法 参加者数
評価支援研修会 「健康日本２１（第三次）におけるPDCAサイクル推進に向けて」 「健康みやざき行動計画２１（第３次）について」 「脳・心・腎を守るための官民一体的に取り組む健康づくり下呂・減塩・元気大作戦」	令和６年１０月１８日 県総合保健センター	集合・オンライン ６１名
支援者育成研修会 「健康日本２１（第三次）における休養目標の意義と健康づくりのための睡眠ガイド２０２３の紹介」 「健康づくりのための身体活動・運動ガイド２０２３の概要と活用」	令和６年１１月７日 県総合保健センター	オンライン ３７名

◆ 健診・保健指導従事者研修事業

医療制度改革により保健事業のあり方が従来と大きく変化し、最新の知見・

根拠に基づいた保健事業を行うことが求められている。そのため、地域における保健指導を担うことができる人材を育成し、併せて保健指導実施者のレベルに合わせた養成研修を行う。

○実績

事業内容	開催日 開催場所	開催方法 参加者数
初任者研修会 「特定健診・特定保健指導の理念・制度・仕組み」 「生活習慣病・メタボリックシンドロームに関する知識」 「初回面接演習」	令和 6 年 7 月 8 日 県総合保健センター	集合 36 名
経験者研修会 「効果的な保健指導のための行動科学」 「効果的な運動介入と効果に繋がる声掛けのポイント」	令和 6 年 12 月 10 日 県総合保健センター	集合 44 名

◆ 母子保健指導員研修事業

母子保健サービスの第一線で活動している関係者を対象に、実践に即した研修会を行うことで地域の母子保健活動の向上を図る。

○実績

事業内容	開催日 開催場所	開催方法 参加者数
母子保健指導者研修会 「妊産婦のメンタルヘルスの基礎知識」 「産後の母親のケアについて」 取り組み発表（都城市、中山産婦人科医院、ほのか助産院）	令和 6 年 10 月 29 日 県総合保健センター	集合・オンライン 158 名

◆ 健康づくり推進員等育成事業

県民の健康づくりを推進するためには、多くの県民が健康に関心を持てるよう、地域の健康づくり活動の広がりや定着を図る必要がある。このため、各市町村において自主的活動を行っている健康づくり推進員等を対象とした研修会を実施し、さらなる健康長寿社会づくりの推進を目指す。

○実績

事業内容	開催日 開催場所	開催方法 参加者数
健康づくり推進員等研修会 「人生 100 年時代を迎えて～運動とフレイル予防」 「脳卒中の原因となる不整脈：心房細動の病態と診断・治療～宮崎大学「かくれ心房細動	令和 6 年 10 月 4 日 県総合保健センター	集合・オンライン 280 名

ゼロ！！作戦」の取り組み～」 「アサギマダラが地域をつなぐ“木城蝶プロジェクト”について」		
--	--	--

◆ 食生活改善推進員育成事業

県内各地で食生活を中心とした健康づくり活動を行う食生活改善推進員に対し、食生活をはじめ、健康づくりに関する最新の情報、知識を習得させ、今後地域活動を実りあるものとするため、研修会を開催する。

○実績

事業内容	開催日 開催場所	開催方法 参加者数
食生活改善推進員研修会 「歯科から全身の健康を考える～オーラルフレイルを知らう～」	令和 6 年 6 月 17 日 宮崎市民文化ホール	集合 299 名

◆ 運動指導者育成事業

県民の健康づくりの必要な運動に関する知識・技術を習得し、安全で効果的な運動を実践できる健康運動指導士・健康運動実践指導者の育成を目的とし、研修会を開催する。

○実績

事業内容	開催日 開催場所	開催方法 参加者数
健康運動指導士・健康運動実践指導者単位認定講習会 「なぜ、遊びは子どもの心身の発達に有効なのか」	令和 6 年 12 月 19 日 県総合保健センター	集合 午前 24 名 午後 22 名

2) 健康づくりにおける情報発信・調査研究

◆ 健康情報分析発信事業

県内の健康寿命等、各種健康指標についてデータ分析を行い、ホームページ等を通じて情報発信する。

○実績

・健康情報の更新

健康みやざき行動計画 2 1（第 3 次）に沿って、宮崎県の現状と目標を更新

・健康づくりデータブックの更新

宮崎県の現状（人口、出生、死亡、平均寿命・健康寿命等）

・市町村健康づくり事業等の取り組み紹介（令和 5 年度を更新）

・「宮崎県健康づくり推進センター」ホームページ閲覧数

表示回数：65,971（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日）

◆ 地域健康推進研究事業

保健所等における健康増進事業に関して実施された研究調査の成果及び業務を効率的に実施するために工夫した経験等を研究会において発表することにより、関係職員の業務知識及び技術の研鑽を図り、健康増進行政の一層の推進に資する。

○実績

事業内容	開催日 開催場所	開催方法 参加者数
第 33 回宮崎県地域健康推進研究会 ○母子保健・健康づくり 8 演題 ○精神保健 3 演題 ○難病 5 演題 ○感染症 5 演題	令和 6 年 5 月 20 日 県総合保健センター	集合 午前 62 名 午後 48 名

3) がん検診の受診率向上及び精度管理

◆ がん情報分析発信事業

広く県民に「がん」に関する適切な情報提供を行い、また、市町村が適切ながん対策を進めるために必要となる各種データの整備を行うことにより、がんの予防や早期発見を推進し、がんによる死亡率の減少やがん患者等の QOL の向上を図る。

○実績

- ・「がんネットみやざき」ホームページの情報更新

令和 6 年度市町村がん検診情報、統計情報、宮崎県生活習慣病検診管理指導協議会情報

がん検診受診率、死亡数（率）、小児・AYA 世代のがん、エリア別統計の情報を最新に更新

- ・「がんネットみやざき」ホームページ閲覧数

表示回数：14,232（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）

◆ がん検診受診促進事業「がん検診受診率向上プロジェクト」

官民共同でがん検診の受診率向上に取り組む「がん検診受診率向上プロジェクト」を実施するとともに、「ピンクリボン活動みやざき」実行委員会事務局の運営を通して、乳がん検診等の啓発を行う。

○実績

- ・がん検診受診率向上委員会の開催

令和 6 年 6 月 28 日（金）13：30～15：00

- ・運営・推進団体と連携してがん検診受診の啓発を行った

中外製薬株式会社が作成した動画「乳がんについて知っておきたいこと」をがん検診受診率向上プロジェクトのホームページに掲載

- ・啓発用リーフレット、ポスターの作成、配布

- ・啓発用パネルの作成

- ・ホームページに推進団体のがん検診受診率向上の取り組み掲載

- ・がん予防に関する動画の作成及びオンデマンド配信
宮崎県の大腸がんの現状、検診と予防の動画を作成し、ホームページに掲載し、希望する推進団体に DVD を配布
- ・「がん検診受診率向上プロジェクト」ホームページ閲覧数
表示回数：3,641（令和6年4月1日～令和7年3月31日）
- ・ピンクリボン活動みやざき実行委員会事務局運営

◆ 生活習慣病検診管理指導協議会

生活習慣病の動向を把握し、市町村や検診機関の行う検診の精度管理の状況を把握・評価し、専門的な見地から適切な指導を行うことを目的として協議会を運営する。

○実績

- ・がん検診実施機関及び精密医療機関の登録
（年2回：4月、10月）
- ・各がん検診精度管理調査結果報告のとりまとめ
（市町村、集団検診機関、都道府県）
- ・各がん部会の開催

肺がん部会	令和7年1月15日（水）	18：30～20：00
乳がん部会	令和7年1月23日（木）	18：30～20：00
子宮がん部会	令和7年1月28日（火）	18：30～20：00
胃がん部会	令和7年2月5日（水）	18：30～20：00
大腸がん部会	令和7年2月20日（木）	18：30～20：00

4）「働く女性の健康づくり」に着目した効果検証事業

ライフステージごとに様々な課題を持つ働く女性の健康づくりに着目し、県内企業と連携しながら、職場内での運動スペース確保や運動器具の設置による効果を検証し、労働者の身体活動の促進、健康増進につなげる。

○実績

- ・研究計画書の作成
- ・研究デザインの決定
- ・研究に使用する機器の選定
- ・研究資料の作成
- ・倫理審査委員会への申請

② 糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防調査・分析事業

糖尿病対策における保険者や医療機関の取組を把握し、経年比較や各団体及び医療圏ごとに取組を整理することにより、各団体及び医療圏等の今後の課題を抽出し、取組をさらに推進することを目的とする。

○実績

- ・「宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防事業（令和5年度実績）に係る調査票」の発送（798 医療機関 再送：410 医療機関）、回収（560 医療機関）、集計・分析
- ・NDB オープンデータ（レセプトデータ、特定健診データ）の集計

- ・平成29年度～令和5年度慢性透析患者等の集計
- ・平成30年度～令和5年度身体障害者手帳所持者数の集計

③ 事業所への定期歯科健診推進事業

本県の定期的に歯科健診を受診している者の割合は低く、特に20～40歳代が低い。また、事業所での定期歯科健診実施率も低いため、定期歯科健診を実施する事業所を増加させ、県民が歯科健診を受診できる機会の増加を図るとともに、健康経営の一環として、事業所が定期歯科健診を実施するメリット（従業員の通院による労働損失や歯痛による作業効率の低下防止、医療費抑制効果等の費用対効果）の周知を図る。

○実績

- ・事業所向け研修会
令和6年9月26日（木）「令和6年度都城・小林地区安全衛生推進大会」
参加者数 120名（各所属の事務担当、衛生管理者及び健康管理担当）
- ・事業所への定期歯科健診の推進
歯科健診及び歯科医師による結果説明、ブラッシング指導
＜1＞令和7年1月8日（水）29名
＜2＞令和7年1月16日（木）28名
- ・定期歯科健診受診勧奨
定期歯科健診受診勧奨、歯磨きのポイントの2種類のチラシを宮崎県健康経営サポート企業22社に配布
協会けんぽ宮崎支部メールマガジン 11月号に定期歯科健診受診勧奨について掲載

④ 宮崎県がん登録事業

宮崎県におけるがんの現状を把握・解析し、総合的ながん対策に役立てるため、宮崎県下全域の居住者に発生した全てのがんについて、その発症から治療、死亡に至るまでの経過に関する情報の収集登録を行った。（令和4年11月1日から当協会が受託）

○実績

- ・がん患者罹患情報の収集、登録
- ・国立がん研究センター、全国がん登録協議会への情報提供
- ・登録した情報の集計及び解析等（2020年宮崎県がん登録報告書の作成）
- ・「宮崎県がん登録室たより」の発行（年2回：5月、1月）
- ・医療機関担当者へのがん登録に関する研修（個別対応：2医療機関）

（6）その他

① DXの推進

喫緊の課題である経営の合理化、DX推進のための検討を始めた。

- ・自治体との連携を可能にするためのシステムの導入
- ・「経営改革対策監」、「業務改善・DX推進室」の設置
（令和7年1月1日付け）

- ・ 職域健（検）診におけるオンライン予約や、労務管理システム導入の検討

② **個人情報保護マネジメントシステムに適合する資格の取得**

「個人情報保護マネジメントシステムに適合する資格を取得していること」を条件に入札等を行う自治体や保険者が増えることが考えられることから、国際規格である ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）を取得した。

※ ISMS（国際規格 ISO／IEC 27001）

国際的に定められた基準に従って、組織が情報セキュリティのリスクを適切に管理し、保護していることを認証するもの。